

# TO BE!

東北文教大学で  
見つける、叶える。  
なりたい自分へ進行中。



all about

民俗芸能  
サークル

# 舞 mai

特集

Special feature

やがしわたらえおどり  
谷柏田植踊を

地域住民の方と一緒に継承している

民俗芸能サークル「舞」。

「民俗芸能」と聞くと敷居が高そう…

と感じるかもしれませんが

そんなことはなく、

興味があれば誰でも参加でき、

「楽しく活動すること！」を

モットーにしているサークルです！

今回は活動のメインとなる

谷柏田植踊について深掘りし、

メンバーや顧問の先生にも

お話を聞きました。

Interview Student

民俗芸能の衣装をまとい舞う有意義な  
経験ができる！



【部長】  
人間関係学科3年  
阿部 莉央那さん  
福島県立福島東  
高等学校 出身

公演前の合同練習や公演本番の出演など、地域の方々と一緒に活動しています。公演を通してその地域の方々と交流することで、その文化や田植踊りの違いを知ることもあり、新しい学びがあることが楽しいです。公演本番は緊張しつつも、やり終えたときは達成感でいっぱいになります。これからは私たちの活動で谷柏田植踊をもっと広めていきたいです。Instagramでも公演やサークル活動の様子を発信しています。現在、新しい仲間を募集中！少しでも興味が湧いたら、サークルをのぞいてみてください！

Interview Teacher

絶やさず  
続けていくことを  
大切に

【顧問】  
菊地 和博先生



サークルのメンバーたちが集まって、よくパート練習をやっている姿を目にします。それに踊りだけではなく、忘年会や桜を観る会、芋煮会…など、みんなで盛り上がる企画を前部長、現部長を中心に発案して実施してくれて、サークル自体がすごくいい雰囲気です。民俗芸能は地域の文化を維持継承することが大事で、「絶やさず続けること」が大目標。今後も大学祭やイベントでの公演など依頼に確実に応えられる体制を整え、自分たちの舞を誇りを持ってお披露目できるチームであってほしいと思います。

story

## 1 谷柏田植踊って?!

田植踊りとは豊作を願い小正月に奉納する伝統行事で、谷柏田植踊は江戸時代後期から山形市谷柏地区で踊られていました。高齢化と後継者不足で20数年途絶えていましたが、2016年に山形県「未来に伝える山形の宝」事業の一環として、東北文教大学・南山形地区創生プロジェクトにより復活。2016年10月の大学祭で初めて谷柏田植踊が披露されました。

story

## 2 復活はたった1本のビデオテープから

谷柏田植踊の復活に向けては、当時の短期大学部総合文化学科の学生たちが中心になって取り組みました。残されていたのはたった1本のVHSのビデオテープ。その映像から見よう見まねで振りを起こしたり、地域の方から唄を楽譜に起こしていただいたり。そうして試行錯誤を繰り返して、練習を積み重ね、20数年ぶりに復活を遂げました。

story

## 3 力強い男踊りと優美な女踊り

田植踊りの「役」は、後方で笠をかぶって踊り、田植えの動きを表現する「早乙女」、その前方で踊り、早乙女を激励する「中太鼓」・「源内棒」、周りで唄、太鼓、鉦、笛でお囃子を立てて早乙女を励ます役があり、田植え神事がもともになっています。前方の中太鼓・源内棒は飛び跳ねたり回転したりして力強く舞う男踊り、後方の早乙女はたおやかに流麗に踊る女踊り。その対比を表現し見る人に伝わるようにと練習に打ち込んでいます。

もとは民俗芸能の演じ手は男性だったことから、男性が女装して早乙女の役を踊っていました。早乙女の笠は、顔を隠すためや、田の神に奉仕する神秘的な存在を象徴する意味も。

【早乙女】  
さおとめ



お囃子で一番大事なリズムを担うのが陰太鼓や鉦。そのリズムに合わせて唄や笛はメロディーを奏でます。それに踊りが加わり一体となつて一つの芸能が成り立ちます。

【お囃子】  
陰太鼓・鉦・笛・唄

【陰太鼓】  
かげだいこ

【鉦】  
かね



【笛】  
ふえ



【源内棒】  
げんないぼう

鉄輪が左右にくっついている棒で地面を突いて、地霊(土の中にある神様)を呼び覚まして豊作をお願いする意味と、振り回して楽器のように音を出す二重の役目を持っています。



【中太鼓】  
なかだいこ

源内棒2人の間に立ち、中央で単独で踊ります。お囃子の一つで、本来は太鼓を叩きながら踊りますが、田植踊りでは太鼓を叩かず太鼓を叩く仕草で踊り、早乙女を盛り立てます。



# 子どもの頃の 思い出は?

MEMORY

TOHOKU BUNKYO

# my BEST CHILD HOOD

子ども時代、皆さんはどんな子どもでしたか？  
夢中になっていたこと、よくやっていた遊び、家族との時間…。  
今回は学生たち8人に、昔を思い出しながら  
心に残るエピソードを語ってもらいました。

※内容は取材時(2025年1月)のもので



## バスケット ボール



SHOT

バスケットに打ち込んだ日々  
当時の仲間とは今も交流

小学3年生から中学1年生までバスケットボールに打ち込み、平日土・日曜も練習や試合でバスケットの毎日でした。辛いと思うこともありましたが、練習が結果につながるの、楽しい気持ちのほうが大きかったですね。大学では、留学やR.I.A部の部活動で外国の方と交流し異文化理解が深まりました。社会へ出てからも多角的な視点で人と接することができる人になりたいです。

人間科学部 人間関係学科/4年  
赤川 諒 さん  
山形県立谷地高等学校 出身

## お絵描き& 折り紙



自作の絵本を何冊も  
作ることが大好きだった

4〜5歳の頃はお絵描きや折り紙が大好きで、ストーリーを考えて、絵や文字をかいて、「虹はどうして出るの?」という絵本を作ったことも。幼い頃の私はおじいちゃん子で、一緒に散歩したり、おやつを食べたり、おじいちゃんとお過ごした時間が懐かしいです。4月からは保育士に、実習を重ねて子どもとの関わり方を学んだ経験を生かし、子どものことを一番考えられる保育士になりたいです。

人間科学部 子ども教育学科/4年  
金子 夢生 さん  
米沢中央高等学校 出身

## 戦うヒロイン のアニメ



憧れのヒロインに  
毎週くぎ付け

幼少期にのめり込んでいたのは「戦う変身ヒロイン」のアニメ。1作目から見ている、フリフリのかわいい衣装や、かっこよく敵を倒す姿に心奪われていました。今でもお店でグッズを買ってしまうほどです!高校時代、人間関係に悩んでいるときに心理学を知ったことや、小学生の頃から本を読むのが好きで司書に興味があったことから人間関係学科へ。4月からは本に携わる仕事に就く予定です。

人間科学部 人間関係学科/4年  
柴田 真帆 さん  
山形県立山形工業高等学校 出身

## バスケット ボール



兄を追いかけてはじめての  
バスケットに全力

小学1年生から中学3年生までバスケットボールをやっていました。夏になるとコーチがスイカを持ってきてくれて、練習終わりにみんなでスイカを食べることがすごく楽しかった思い出です。小さい頃の将来の夢は、幼稚園児のときは芸術家、小学生のときは消防士、そして今は保育士です。幼稚園児とわらべ歌遊びを楽しむ活動に参加するなど、子どもと関わることを大事にしています。

短期大学部 子ども学科/1年  
木村 日虹 さん  
東海大学山形高等学校 出身

## おままごと& 歌・踊り



DANCE

SONG

幼稚園では  
毎日のおままごと

幼稚園でよく遊んでいたのは「おままごと」。私はいつもお母さん役で人形を抱えながら「お父さんいってらっしゃい」といったふうにお友達と家族ごっこをしていました。歌ったり、踊ったりするのも好きで、衣装を着てステージ上で音楽に合わせて踊っていましたね。4月からは小学校時代から憧れた教員に。大学でのチャレンジや人との関わりの中で成長できたことを生かしていきたいです。

人間科学部 子ども教育学科/4年  
中村 友加里 さん  
山形県立山形西高等学校 出身

## 大おじ・大おば との思い出



いつも行き来していた  
幼少期のよりどころ

幼少期は両親が働いていたため、近所に住む親戚のおじいちゃん、おばあちゃんがよく面倒を見てくれました。クマ牧場や水族館に連れて行ってくれたり、ラーメン屋を営んでいたのが美味しいものを出してくれたりもしましたね。そのせいか小学生の頃の夢は「ラーメン屋さん」でした!4月からは小学校教員に。授業づくりや子どもとの接し方などを自分なりに考え、準備をしていきたいです。

人間科学部 子ども教育学科/4年  
清水 要 さん  
秋田県立能代高等学校 出身

## リレークラブ



幼児期から  
ずっと走るのが好き!

小学6年生のときに所属していたリレークラブで全国大会に出場したことが印象に残っています。私は補欠だったのですが、走れなかった子どもたちで100mを走るプログラムがあり、みんなが応援してくれて一緒に走ったような気持ちになれたことがすごく嬉しかったです。今は卒業研究発表の準備をしながら、子どもと触れ合える地域食堂や児童遊戯施設でのボランティアにも取り組んでいます。

短期大学部 子ども学科/2年  
和賀 茜 さん  
山形県立酒田西高等学校 出身

## アニメ&ゲーム



キュートな  
ヒロインたちに熱中 \*

子どもの頃は「戦うヒロイン」や「アイドルを目指す少女たちの物語」のアニメやゲームに夢中でした。姉と一緒にアニメを見たり、弟に子ども用のコスプレの衣装を着せたりして遊んでいました!小学生の頃はテレビ業界に憧れていてマネージャーになりたかったです。ひいおばあちゃんの介護を経験したことから、高校の進路選択時に福祉分野を選択。社会福祉士の資格取得を目指して勉強中です。

人間科学部 人間関係学科/2年  
土田 静宮 さん  
羽黒高等学校 出身



子ども教育学科 准教授  
杉中 拓央  
SUGANAKA TAKUO

相手と愚直に  
場と時間の共有を重ね  
わかろうとする気持ちを大切に

“子どもを教える”ことは  
“子どもから学ぶ”ということ

Q 先生が指導されている「特別支援教育」とはどのようなものですか。  
A 特別支援教育は子ども一人ひとりの特性を踏まえて、そのニーズに応じた支援を行う教育です。視覚・聴覚・発達障害の子どもや外国ルーツの子ども、貧困や虐待などの問題で困難な家庭にある子どもも特別な支援を必要とする子どもとして対応が求められます。特別支援教育の基礎になる考え方に「障害は環境によってつくられる」という言葉があります。子どもの医学的な障害に加えて、注目すべきは彼らを取り巻く環境。教室や保育室の様子、先生や友達、家庭、地域…それらの環境次第でその子の生活の質が大きく変わってくるわけです。そして、もう一つ重要なことは「個性」と「特性」の違い。学校では「いろんな個性の友達と仲良く」とよく言われますが、30人が同じ教室にいても暑がる子もいれば寒がる子もいるように、それぞれに生まれ持った特性があり、そこに配慮

できなければその子の学びや生活の質は変わりません。個性を尊重することは大事ですが、同時にその特性もしっかりと理解する必要があります。  
Q 授業をする上で大切にしていることは？  
A “子どもを教える、保育する”ことは、同時に“子どもから学ぶ”ということ。このことについて学生に意識してもらえるように話しています。子どもに教える立場ではあるけれども、子どもに対してまなならないとき、自らに問題はなかったかと謙虚に振り返る姿勢を持ってほしいです。何らかの課題を抱えている子どもについて考えるときには、学生には他人ごとではなく、現在の自分にももしかすると特別なニーズがあるのではないかという視点で考え、自分ごと・自分たちごとにしてほしいですね。授業ではICTを活用。授業内容のスライドが学生の手元のスマートフォンやパソコンに反映されるシステムで、学生から匿名で意見や質問も送れます。手を挙げられないけれども意外と意見を言いたい学生も多いです。安心安全な環境でこそ、参加したいという前向きな気持ちや、興味関心が育つというのは、子どもも

大学生も同じ。そのように考え、授業内容や形式を日々模索しています。

わかり合いたいと思いつける  
ことで相手に一歩近づける

Q 学生へメッセージをお願いします。  
A “人はわかり合えない、けれど信じ合うことができる”ということです。例えば都会育ちの人と田舎育ちの人が「夕焼け空って切ないよね」と話が合う。しかし、都会の夕日はビルとビルの間に沈んでいく夕日かもしれないし、田舎の夕日は山間に沈んでいく夕日かもしれない。話は合っているけれど、都会っ子と田舎っ子はある意味わかり合っていない。他人のしている世界、そのすべてを理解することは不可能ですが、お互いを信頼することはできます。そのためには、相手と愚直に場と時間の共有を重ねるしかありません。それで完全にわかり合えなくてもその人のしている世界に一歩また一歩と近づいていくことができるので、学生の皆さんにはわかり合えないけれどもわかりたいと思う気持ちをいつも持ち続けてほしいです。

教員プロフィール／東北文科大学 人間科学部 子ども教育学科 准教授・学長補佐。博士(障害科学)。日本学術振興会特別研究員、早稲田大学人間科学学術院助手、小田原短期大学保育学科専任講師を経て2022年東北文科大学人間科学部に着任。専門分野は特別支援教育。東京都、福島県、山形県で保育士等キャリアアップ研修の講師も務める。

NOTICE BOARD

REPORT 山形市と東北文科大学の保育や児童福祉等に関する連携協定の締結について



山形市と東北文科大学は、相互の発展のため交流を促進し、保育、子育て支援、児童福祉等の分野で連携・協力するため以下のとおり協定を締結いたしました。今後相互の発展を目指し、各分野での交流活動を深めてまいります。

・日時:令和6年12月5日(木)13:30～  
・場所:山形市役所3階 庁議室  
・出席:山形市長 佐藤孝弘(敬称略)  
東北文科大学学長 須賀一好

REPORT 南陽市と東北文科大学の児童福祉分野等に関する連携協定の締結について



南陽市と東北文科大学は、互いの連携・協力体制を更に強め、保育、教育、福祉、学術文化等の分野で連携・協力するために連携協定書を締結いたしました。今後相互の発展を目指し、各分野での交流活動を深めてまいります。

・日時:令和6年9月25日(水)14:00～  
・場所:南陽市役所3階 庁議室  
・出席:南陽市長 白若孝夫(敬称略)  
東北文科大学学長 須賀一好

NEWS 令和6年度「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」(キラリと光る教育力)事業に選定されました



本学は、文部科学省及び日本私立学校振興・共済事業団が実施する「少子化時代を支える新たな私立大学等の経営改革支援」事業において、メニュー1「少子化時代をキラリと光る教育力で乗り越える、私立大学等戦略的経営改革支援」の対象大学として選定されました。(選定校数45校、選定率40.5%)

本事業は、社会・地域等の将来ビジョンを見据え、自治体や産業界等と緊密に連携しつつ、社会・地域等の未来に不可欠な専門人材の育成を担う事を目的とし、教育・研究面の構造的な転換や資源の集中等による機能強化を図ること等により、未来を支える人材育成機能強化に向けた経営改革を行う、キラリと光る私立大学等を支援するためのものです。

本学は「地域に育む人材を支える人材養成のための教育改革」をテーマに掲げ、本事業に選定されました。地域と協同してインクルーシブ教育力を有する保育・教育系人材、ダイバーシティ対応力を有する福祉系や企業系人材の養成に努めてまいります。

NEWS 公認心理師の対応カリキュラムがスタート!

人間関係学科では、令和7年度入学者から公認心理師国家試験の受験資格として必要な科目(公認心理師カリキュラム)を開講します。【公認心理師とは?】

公認心理師とは、心理職のための初の国家資格です。人間の心理に関する専門的な知識と技術を持ち、保健医療・福祉・教育などの分野で心理的なケアや指導を行うカウンセラーや臨床現場で働く「心理職」に就く人に求められる資格です。

【公認心理師になるには?】

本学で対応する「公認心理師カリキュラム」を修得し、卒業後、大学院に進学して必要な科目を履修して修了するか、定められた施設で2年以上の実務経験を得ることで、国家試験の受験資格が取得できます。

本学には大学院はありませんが、大学院受験のための科目を開講し、大学院進学をサポート体制を充実させる予定です。「公認心理師カリキュラム」の詳細については、今後もホームページ等で随時お知らせしていきます。



文房具愛と地元愛を

いつのときもまっすぐに

伝え続ける

TSUCHIYA WAKA

## 土屋 稚さん

おかげさま文房具店 店主

中学時代の老人ホームでのボランティアがきっかけで福祉の仕事を目指しました。短大では福祉の世界に触れる新鮮さ、吸収している達成感がありました。それに何より、勉強するときは文房具が使えるからモチベーションが上がりますよね！この文房具愛は小学生の頃から。特にペンケース集めに夢中で、一時期は100個ほど持っていたことも。ペンケースの中にそれぞれのテーマで世界観をつくるのが大好きだったんです。

就職活動では中学校時代に訪れた蔵王長寿園に何度も通い詰めました。空きはなかったものの、利用者さんと手紙のやりとりをしていたこともあり絶対そこに就職する！と決意。たまたま空きが出て就職が決まったのは卒業式直前でした。20歳から13年間で、介護福祉士として勤務。利用者さんからお話を聞くのも自分が話すのも好きで、とにかく楽しかった思い出いっぱいあります。働きながらケアマネージャーと社会福祉士の資格も取得し、勤め上げると思っていた福祉の仕事。けれど、結婚、出産を経て復帰を考えたとき、夜勤勤務の難しさを痛感。次もやるなら好きな仕事をと、文房具屋をやるうってシンプルに思いましたね。

最近では小売りだけでなく「こんなグッズを作りたい」というクライアントさんとそれに合わせたサービスをつなぐ仕事も。今、思い描いている夢は自分が生まれ育った上山を、紙の山にすること。縁起物の加勢鳥の菓子を紙に漉き込んだ和紙で婚姻届やのし袋を制作したり、畳屋さんとのコラボで、畳を持ち歩く、文房具を作ったり、上山市の企業とのコラボから生まれた文房具を通して、上山に来る人が増えたらと願っています。自分の「好き」という想いが一番の強み。ときめき、惚れ込んだ文房具愛をこれからもまっすぐに伝えていきたいです。

## 私の HISTORY

プロフィール  
1986年生まれ。山形県立上山明新館高等学校出身。2006年山形短期大学(現 東北文科大学短期大学部)人間福祉学科卒業。同年から介護老人ホームで13年間介護福祉士として勤務。2020年におかげさま文房具店をオープン。

1年次

福祉の知識が広がるのが楽しく、授業が終わってからも友達と自己学習する日々

2年次

実習で理想と現実の違いに直面し号泣。そんなときにも先生方が相談に乗ってくれた

20歳

介護老人ホーム蔵王長寿園に就職。利用者さんとの触れ合いが何よりのやりがい

35歳

結婚、出産を経て次の仕事を模索する中、文房具屋をやるう！と奮起

ここがターニング Point!



「やりたい」という強い思いと、たくさん縁がつながりお店をオープンできた!

現在

お店に並べるのは使ってみて良いと思った文房具だけ。次々と浮かぶアイデアで文房具を通して上山の魅力を発信